

全国学習状況調査：結果報告

全国調査の結果

佐志小6年

R3.12月調査	国語	算数
県との比較	1.03	0.89

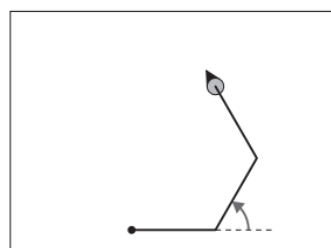


R4.全国調査	国語	算数	理科
県との比較	0.98	0.92	0.95
全国との比較	0.96	0.90	0.92

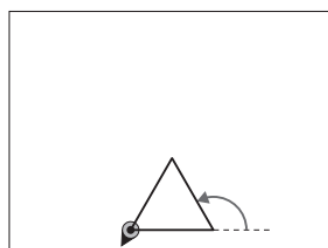
夏休みも終わり、少しずつ秋の気配が感じられるようになった今日この頃。佐志小の子どもたちは、夏の疲れなど全くないようで、毎日元気登校できていて、感心しています。

さて、報道もされていましたが、4月に実施された「全国学習状況調査」の結果が出ました。佐賀県は全国平均を下回る結果となり、授業改善のさらなる必要性や家庭学習の大切さなど、新聞等でも出ていました。佐志小学校の結果を見てみると、国語、算数ともに佐賀県の平均に届いていません。ですが、算数は5年生時に受けた「佐賀県学習状況調査」の時の成績よりも伸びが見られます。このテストだけで全てが分かるわけではありませんが、このテストの結果を真摯に受け止め、これからの学習に向かう姿勢を変えることは可能です。

では、どんな問題に躓いたのでしょうか。佐賀県の平均と比べ、一番差が大きかった問題がプログラミングの問題でした。



実際の結果



かこうとした正三角形

つくったプログラム

- ① 5 cm の直線を引く。
- ↓
- ② 左に 60° 回転する。
- ↓
- ③ 5 cm の直線を引く。
- ↓
- ④ 左に 60° 回転する。
- ↓
- ⑤ 5 cm の直線を引く。

ア 5 cm の直線を引く。

イ 左に 60° 回転する。

つくったプログラムでは、正六角形がかけてしまったので、正三角形を正しくかくためには、ア、イのどちらを書き換えればよいか、正しく書き直すという問題です。

正解者の割合は 25% でした。質問の意味が分からなかったのか、正しく書き換えず、選んだイをそのまま書いている解答や、命令ではなく説明を詳しくしている解答、角度が全く違う解答・・・など初めてのプログラミングの問題ということもあってか、正解者が少なかったようです。

他の問題の誤答を見ても、聞かれていることに的確に答えられていない児童が多いことが分かりました。職員の研修会でも話題にあげ、今後の授業で大事にすべきことを話し合ったところです。

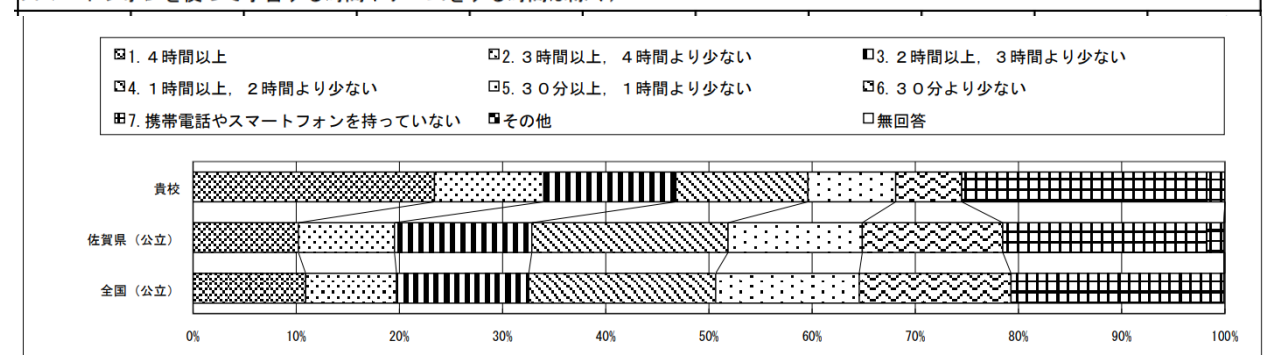
子どもたちの学力をつけるために・・・（研修会で確認したこと）

- ・問題の聞かれていることを、全体で確認する。（線を引く）
- ・自分の考えをしっかりと書けるように時間を確保する。考えを交流する場を設定する。
- ・家庭学習やスキルタイムなどで、基本的な計算の力を付ける。

このテストで、素晴らしいことが1つありました。それは、「無解答率」といって、答案用紙に答えが書けていない児童の割合が、算数は0%だったということです。つまり、全員が何かしら解答用紙に答えを書いていたということです。国語や理科のテストでも無解答率は低かったです。「がんばって考えよう。」「途中まででもいいから書こう。」という佐志小の子どもたちの、テストに向かう前向きな姿勢がうかがえました。

教科のテストと同時に、児童への質問紙も実施されています。その中の項目で、一番目を引いたのが下の質問です。毎日4時間以上動画視聴等を行っている児童が24%います。全国や佐賀県の2倍以上です。2時間以上視聴している児童が47%程度と、これも平均を上回る結果となっています。

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



佐志小の子どもたちの家庭学習の時間は、全国や県と比べてさほど大きい差はありませんでした。ですが、携帯やスマートフォン、テレビやYouTube等の動画視聴時間は、びっくりするほど多いことが分かりました。携帯を使う・テレビを見る等の時間が長い子の学力は、使わない子と比べると低いという結果も出ています。もう一度、ご家庭での時間の過ごし方を、お子さんと一緒に確認されてはいかがでしょうか。